

2019年7月30日

強羅駅・桃源台ターミナルに「七夕飾り」を展示します

国内外から訪れる多くのお客さまに箱根でしかできない“特別な思い出”を

小田急箱根グループでは、旧暦の七夕(2019年は8月7日)にあわせて、2019年8月1日から8月31日の1ヵ月間、強羅駅および桃源台ターミナルに「七夕飾り」を展示します。

これは、箱根を拠点に地域の活性化に取り組む団体「箱根勝手に応縁隊」の協力のもと開催するもので、大小さまざまな色とりどりの「七夕飾り」を展示し、箱根にお越しいただいたお客さまをもてなすとともに、地元の盛り上げを図っていきます。

「七夕飾り」は着物などの古布をもとに「箱根勝手に応縁隊」のメンバーが全て手作りしたもので、強羅駅では「箱根登山鉄道 箱根湯本～強羅間開業100周年」を記念し、箱根登山鉄道沿線の紫陽花をイメージした100個の七夕飾りを展示するほか、桃源台ターミナルでは、箱根神社など芦ノ湖周辺の有名スポットをイメージした七夕飾りを約50個展示し、国内外から訪れるお客さまに“特別な思い出”として心に残る体験を提供していきます。



「七夕飾り」の展示イメージ



「七夕飾り」を展示する強羅駅(左)、桃源台ターミナル

「箱根勝手に応縁隊」について

2012年より活動。主に箱根町民で構成される平均74歳の有志団体で古い着物を再利用し、「七夕飾り」や「つるし雛」、「布短冊」などを一から手作りで制作。箱根にとどまらず日本各地やアメリカボストンで展示会を開催するなど、地域振興や日本文化の魅力発信に精力的な活動を行っています。

以 上